

# 小学校・中学年編 第2部 9

## 「守れ、天橋立」

- 1 学 年 第4学年
- 2 主題名 「郷土を愛し、守るために」
- 3 内容項目 4 - ( 5 ) 郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心をもつ。
- 4 テーマ F 郷土や国の発展を願う心

### 5 主題設定の理由

#### (1) ねらいとする価値

郷土の生活や文化、伝統、自然の良さを自覚し、誇りを持つことは、将来遠く離れて暮らすほどに、心の糧として人生の精神的な支えとなることも多い。この時期の児童は、特に地域での生活が活発になり、地域の行事や活動に興味を持ってくる。地域の一員であることを意識してくるが、その良さを継承していく心構えは育っていない。そこで、郷土のために活動している人がいることに気付かせ、自らも積極的に関わり、みんなの力で郷土をより良くしていこうとする態度を育てることが必要である。

郷土を愛する心を育てることは、さらに学校、日本、世界を愛する心へとつながり発展していくと考える。

#### (2) 資料について

本資料は、京都府内の児童作文と「ボランティアの方の話」と第1部の執筆者の河合雅雄氏からの「おうえんメッセージ」で構成されている。

中学年の総合的な学習の時間では、地域の自然や特産品のことを体験活動も交えて学習している。ここでは、将来にわたって受け継いでいかなければならない郷土の良さに対して、ごみの散乱等の何らかの問題を抱えていることを学ぶ。したがって、クリーン作戦に参加した「わたし」の「日本三景の美しい自然をずっと守っていきたい。」という言葉に、素直に共感できると考える。また、「ボランティアの方の話」から、「地域のたから」を守ってほしいというわたし達への強い願いも知ることできる。さらに「おうえんメッセージ」では、郷土に誇りを持つことに触れ、より良くしていくための児童の行動化にエールが贈られている。

景勝地「天橋立」の資料から、各地がそれぞれ地元の人達にとっては大切な郷土であることを考えさせ、さらに我が郷土に目を向けさせ、より良くしていく活動に自分たちも関わっていこうとする気持ちを高めたい。

### 6 本時のねらい

郷土の自然を守るために活動している人がいることを知り、より良い地域づくりに協力していく態度を養う。

### 7 授業改善の視点

#### (1) 自分たちも関わっていこうとする態度を養う指導

社会科「水はどこから」や総合的な学習の時間の「岩屋川探検隊」で、生活を守るためには働く人の努力や地域の方々の協力が必要であることを学んだ。その学習を基に、地域をより良くしていくために、自分達にもできる活動があるということに気付かせる道徳の時間の指導。

#### (2) 視聴覚教材（写真）の効果的な活用

天橋立の自然の美しさや実際のゴミの散乱の様子が分かる写真を活用し、自然を守らなければならないという気持ちを児童に持たせ、実践への意欲へつなげる指導。

8 本時の展開

過程	学 習 活 動	主 な 発 問 予想される児童の反応	指 導 上 の 留 意 点	資 料 ・ 評 価 等
導 入	1 「天橋立」の名前の由来を知る。	<p>この写真は何をしているところでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>海の中に松の木が並んでいて、逆さに見ている。</li> <li>股のぞきをしている。</li> <li>天橋立には、海水浴に行ったことがある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「股のぞき」の写真を見せ、「天橋立」の名前の由来について知らせる。</li> <li>「日本三景」の一つで、観光地としてたくさんの方が訪れることや地元の人々の通路になっていることに触れる。</li> </ul>	写真
展 開 (前段)	<p>2 ゴミが散乱している現状を知る。</p> <p>3 資料の範読を聞いて話し合う。</p>	<p>この写真を見てどう思いますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>汚い。</li> <li>ゴミ箱に捨てたらいいのに。</li> <li>いやな気持ちになる。</li> </ul> <p>天橋立クリーン作戦に、参加した「わたし」はどんなことを思ったのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こんなにたくさんのごみが落ちているなんて知らなかった。</li> <li>これからもそうじをしたい。</li> <li>ゴミをだれも流さないでほしい。</li> </ul> <p>このボランティアの方は、どんな気持ちで、ゴミを拾い続けておられるのでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>こんなゴミを捨てる人がいなくなってほしい。</li> <li>たくさんの人に、きれいな天橋立を見てほしい。</li> <li>天橋立を守ってほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>天橋立の写真であることを後から知らせる。</li> <li>「ボランティアの方をどう思うか。」と問い、地元を大切にしたい気持ちの強さに気付かせる。</li> <li>「この方が毎朝、そうじをしてくれなくなったならどうなるのか。」と問い、みんなで力を合わせる大切さに気付かせ、次の発問につなげる。</li> </ul>	写真  写真
展 開 (後段)	4 自分を振り返る。	<p>わたしたちが、地元の自然を守りより良くしていくためにできることは、どんなことでしょうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川の月例の清掃活動に参加する。</li> <li>ゴミを捨てないようにする。</li> <li>町のイベントに参加して、地元を大切に思う気持ちを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域でされている活動について調べておき、提示する。</li> <li>体験したことも評価しながら、これから実践する具体的なイメージを持たせる。</li> </ul>	より良い地域づくりに協力している。
終 末	5 「おうえんメッセージ」を聞く。天橋立が世界遺産登録を目指していることを知る。		<ul style="list-style-type: none"> <li>「子どもたちがごみそうじをしているすがたをみたら、そんな人も心を入れかえるでしょう。」の言葉から、実践する意義を抱かせたい。</li> </ul>	

9 板書計画

<p>きょう土をより良くしていくために、自分達 のできることを考えよう。</p> <p>*** 川の清そう活動に参加する。 ゴミをすてない。 行事に進んで参加する。</p>	<p>クリーン作戦の 写真</p>	<p>ゴミの散乱してい る写真</p>	<p>股のぞきの写真</p>	<p>きょう土を愛し、守るために 「守れ、天橋立」</p>
	<p>ボランティアの 方の写真</p>	<p>ゴミの散乱してい る写真</p>	<p>逆さに写る天橋立</p>	
	<p>ボランティアの方</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴミをすてないでほしい。</li> <li>・天橋立を守りたい。</li> </ul>	<p>クリーン作戦</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・こんなにゴミが落ちてい るな</li> <li>・こんな んて…</li> <li>・これからもそうじしたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・汚い</li> <li>・ゴミ箱にすてたら…</li> </ul>	

10 児童の感想

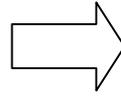
わたしはこの学習をして、ボランティアの人は、毎日3時間もそうじをしてくれて、天橋立をとっても大切にしていることがよく伝わってきました。わたし達の町をより良くしていくために、みんなで、川などのゴミ拾いができると思います。夏になるとよくみんなで遊ぶので、遊ぶときにも拾いたいです。

わたしは、「守れ、天橋立」を学習して、自分たちでできることを考えました。わたしは、学校に落ちていたおかしなゴミを友達と職員室に持っていったことがありました。このおじさんも、ゴミ拾いをしていたので、わたしも、学校や川に行ったときに、ゴミが落ちていたら「拾おう。」と思います。

ぼくは、このお話を読んで、このゴミを捨てた人はひとりではないと思いました。わけは、こんなにたくさんのゴミをひとりで捨てることはぜったいむりです。ぼくは、ゴミを捨てる人に注意したいです。また、捨ててあったら、拾ってゴミ箱に捨てたいです。

ぼくは、このお話を学習して、川や道とかにゴミを捨てないようにすることを決めました。もう一つは、道路にゴミが落ちていたら、近くにあるゴミ箱に捨てることを決めました。ボランティアの方が、ゴミを拾ってくれなかったら、環境にも悪いです。毎日3時間もゴミ拾いありがとうございます。

わたしは、このお話を学習して、雨の日もかぜをひいても、毎日ゴミ拾いをしているってとてもすごいことだなあと思いました。それほど、天橋立が大事なんだと思いました。わたしたちは、まだ子どもだからできることは少ないけど、クラスで川のゴミ拾いを計画して行ったり、看板をかいたり、できることをたくさんしていきたいです。



### 「天橋立」の名前の由来

股の間から、天橋立を見ることを「股（また）のぞき」と呼んでいます。股のぞきで逆さのぞくその景色は、海と空が逆になり、まさに「天に架かる浮橋」のように見えることから、この名が付けました。この眺望は、北側の傘松公園からの「斜め一文字」と呼ばれているものです。

<http://tankai.jp/amanohashidate/kasamatsu/kasamatsu.htm> 参照

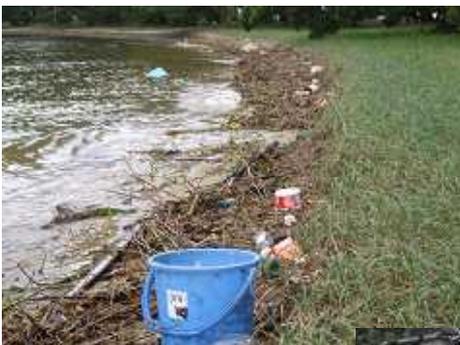
### 「天橋立」の松並木

宮津湾と内海の阿蘇海（あそかい）を南北に隔てた全長 3.6 km の砂州。一帯には約 8000 本の松林が生え、東側には白い砂浜が広がっています。江戸時代から、松島（宮城県）、宮島（広島県）とともに日本三景の一つに数えられています。成り立ちは、今から約 4000 年前とされています。

### 「天橋立」の眺め

四方からの眺めが有名で、それぞれに名前が付けられています。

- ・ 北側から：斜め一文字（斜め一文字に見える。伝統的に美しいとされている。）
- ・ 南側から：飛龍観（龍が天に昇る姿に見える。「京の子ども 明日へのとびら」で掲載されている写真）
- ・ 西側から：一字観（横一文字に見える。）
- ・ 東側から：雪舟観（雪舟筆「天橋立図」が描かれたことに由来する。）



ゴミの散乱している  
「天橋立」の提示用写真



遠くに見えるのが、回転橋。  
船の運航時に、橋が 90 度回転  
する仕組みになっていること  
で知られている。